

第36回テーマ展

行田のまちなみと 高い

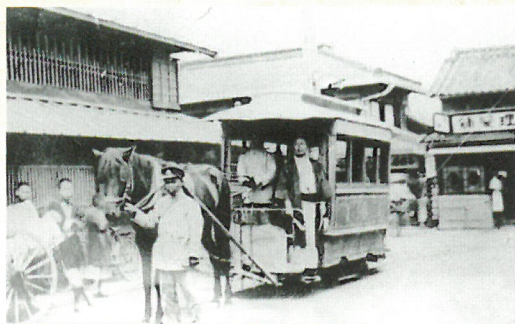
令和8年7月4日土～8月30日日

開館時間 午前9時～午後4時30分(最終入館受付は午後4時まで)



行田市郷土博物館

〒361-0052 埼玉県行田市本丸17-23 TEL.048-554-5911 FAX.048-553-4951



忍馬車鉄道
(明治~大正時代)

行田の中心市街地は、忍城の城下町であった頃の町割を色濃く残しながら近代的な街へと移り変わりました。そこには多くの人や物資が集まり、特産品の足袋は勿論のこと、それに留まらない様々な経済活動が盛んに展開されました。また、忍城があった時代には堀の一部となっていた広大な忍沼や、街中を走る大小の水路が独特の景観を形作っており、水辺ならではの生活文化も息づいていました。

本展覧会では、明治時代から昭和時代にかけての旧城下町エリアを中心に、資料を通じて近代における地域の変遷を紹介します。



昭和32年(1957)の本町通り(夏祭り)



行田町勉強店双六(部分)



荒物店で使われていた看板

公開講演会

近代を生きる商空間

～地方都市の町並みと「伝統」の民俗学～

講師 塚原 伸治 氏

(東京大学大学院総合文化研究科准教授)

日時 令和8年8月2日(日) 午後2時～3時30分

会場 行田市郷土博物館 講座室

定員 80名(要申込)

申込開始 6月17日(水) 午前9時から

申込方法 電話(048-554-5911)

もしくは行田市電子申請・

届出サービスから同館まで



▲行田市電子申請・届出サービスはこちら

関連イベント

学芸員による展示解説会

日時 令和8年7月19日(日)・25日(土)・8月30日(日)
いずれも午後2時から(30分程度)

会場 行田市郷土博物館 企画展示室
対象 当日の入館者(申込不要)

忍町を歩こう

展覧会で取り扱う「少し昔」のまちの姿を、実際に歩きながら紹介します。野外散策の後、休憩を挟んで企画展示会で解説を行います。

日時 令和8年7月4日(土) 午前8時半～午前10時
集合・解散 行田市郷土博物館
コース(予定) 諏訪、北谷、忍沼跡、旧忍町信用組合店舗、本町、新町、天満稲荷など

対象 中学生以上
定員 計20名(要申込)
申込 令和8年6月21日(日)午後4時30分までに
電話(048-554-5911)もしくは直接同館まで

注意事項

- 屋外を歩くため、身軽な服装でお越しください。
- 暑くなることが予想されるため、帽子や飲み物を必ずお持ちください。
- 雨天や酷暑の場合、内容を一部変更して行います。(荒天中止)

入館料 大人 200円(団体160円) 大学・高校生 100円(団体80円) 中学・小学生 50円(団体40円)

※大学生(短期大学・大学院含む)の方は、入館料お支払い前に学生証をご提示ください。
※団体料金は20名以上で適用されます。※6月20日(土)～8月30日(日)の期間、古代蓮会館または埼玉県立さきたま史跡の博物館の入館券をお持ちの方は、個人でも団体料金での入館となります。

展示期間中の休館日

7月6日(月)・13日(月)・21日(火)・27日(月)
8月3日(月)・17日(月)・24日(月)

鉄道・バスで

- 秩父鉄道行田市駅(南口)から西へ徒歩15分
- JR高崎線吹上駅(北口)から
 - 行田折り返し場・行田市駅・総合教育センター行 バス(前谷経由) →「忍城」下車すぐ
 - 行田折り返し場・総合教育センター・工業団地行 バス(左間経由) →「新町一丁目」下車、徒歩10分
- JR高崎線行田駅(東口)から
 - 市内循環バス西循環コース(右回り) →「忍城址・郷土博物館前」下車すぐ
 - 市内循環バス西循環コース(左回り) →「忍城バスターミナル」下車、徒歩5分
 - 市内循環バス観光拠点循環コース →「忍城バスターミナル」下車、徒歩5分

お車で

- 国道17号バイパス持田ICから県道128号を東(行田市街地方面)に3分
 - 東北自動車道加須ICから国道125号、県道128号を西(行田市方面)に30分
- 併設駐車場(無料)
第1駐車場…普通車33台 バス4台 第2駐車場…普通車23台 障がい者用普通車1台

交通案内



▲交通案内はこちら

行田市郷土博物館

〒361-0052 埼玉県行田市本丸17-23
TEL: 048-554-5911 FAX: 048-553-4951
https://www.city.gyoda.lg.jp/kanko_bunka_sports/shisetsu/kyodohakubutsukan.html